

# 産業建設委員会記録

令和2年10月12日（月）  
09時57分～11時23分  
第4委員会室

【委員】 申崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】 西川議員

【議長団】 なし

【執行部】 戸津川水産振興課副参事

【事務局】 近重書記

---

## 議 題

### 1 産業建設委員会の取組課題について

#### 【11月6日産業建設委員会確認事項】

- 庁内（職員）のみで組織する全庁的なプロジェクトチームの立ち上げについて。立ち上げた際には、山陰浜田港公設市場周辺へのイベントスペース設置、産直市の誘致、柔軟な交通アクセスについて検討を求める。
- マルハニチロとの協定締結後の状況について。あわせて新型コロナウイルス感染症の影響により当初と現在の進捗の差異について確認する。
- 山陰浜田港公設市場へのバスの乗り入れの進捗状況（水産振興課）、関係人口と周辺エリアの考え方（定住関係人口推進課）

#### 【その他】

- 産直市の誘致状況をJAしまねいわみ中央地区本部の担当者及び農林振興課同席の上で確認する。現況として産直市の整備は困難とのことであるが、クリアするための案の確認を行う。

### 2 その他

- 要望書の提供
- 産業建設委員会行政視察を令和3年の1～2月に可能であれば開催したい。

## 【議事の経過】

〔 09 時 57 分 開議 〕

串崎委員長

ただいまから、産業建設委員会を開会する。出席委員は7名で定足数に達している。

それでは、レジュメに沿って進める。本日は、執行部の出席はない。

## 1. 産業建設委員会の取組課題について

串崎委員長

既にタブレットに資料が入っている。先般執行部と意見交換し、質問への回答をいただいている。その回答に対して、委員からご意見をいただき、少し深堀りしたい。

資料をご覧いただきたい。1番の回答について皆の意見を聞きたい。

布施委員

8月7日に回答をもらった。本会議場でも水産業に対する市長目標である100億円を掲げられ、水揚げ量・水揚げ高、自然減少もあるとはいえ目標に達していない。水揚げ量、水揚げ高は難しいとしても、加工業や水産業にかかわる業者の活性化は会社自らの取組も必要だと思うが、市として大きな支援も必要ではないかと考えている。当委員会としてプロジェクトチームを立ち上げたらどうかと提案したが、産業経済部長は市長権限のため市長と協議して作り上げると言われた。私は遅いと思う。立ち上げて、新しい拠点ができるのでそれを中心として浜田市の顔となる水産業の基礎をしっかりとこの際に見直して、一歩も二歩も進むべきだと思う。地方都市におけるコロナ禍の中で、地方は見直されていると言われているが、発信しないと人はついてこない。また、市民もそっぽを向く状態になると思う。当委員会として一刻も早く課を超えた横断的組織を立ち上げていただきたい。

開府400年推進室のようなイベントがあっても終わったら解散ではなく、半永久的な推進室を立ち上げるべきだと、再度強く産業建設委員会と言うべきではないか。その回答が、すでに10月で、2か月経って当委員会に何の話もないのは、前向きではないと思う。お魚センターのオープンがコロナでたまたま3月に延期したから、自分たちの考えも3月までずれていると感じている。そういう考えだと世の中についていけないのでその辺を委員会としてしっかりと言うべきではないか。

野藤委員

漁港エリア活性化は、浜田市の最重要課題ではないかと。浜田市は関係人口や交流人口の増加を図るために組織強化している。GOTOトラベルが始まって鳥取県の皆生へ行ったのだが、親子連れが多い。今まで自粛してこどもも家の中に

閉じこもっていたのを外へ出したのかもしれない。特に大山や港周辺、皆生海岸のホテルの海岸沿いに若い女性や親子連れがいるのを見た時、海浜部の楽しみという資源が浜田にはあるのに活用できていない。このプロジェクトチームはものを売るのみではなく、多世代の方々に来てもらえる雰囲気作りも必要だと思う。全庁的に、福祉の女性職員の意見も必要と思っている。各課横断のものを作り、さまざまな意見を聞き面白い意見はその人を入れて作るべきではないかと思っている。ただ新しい公設市場だけではなく、若い女性やこどもでも来られるような周辺施設も含めたことができるような、意見がでるようなものにしていただきたい思いがある。

笹田委員

布施委員は遅いと言われたが、まだ間に合う思いがあるので、前へ進むという意味で尻を叩かないといけな。

お二人とまったく同意見である。活性化計画もあるので、お魚センターだけではなくて将来見込み、市がどう描いていくかは示されたので、それに向けての市の強力なバックアップも含めて土地が国県のものもあるが市の本気度を見せるためにも全庁的な組織を作って推進するべきである。布施委員も言ったが2か月経過している。今どうなっているか誰か呼んで聞いてもよい。僕らの意見が市長に伝わっているか考えていただいているかが疑問である。執行部を呼んで意見交換をして勉強会をしても何の回答、返事、アクションもない。言葉は悪いがなめられているのでは。課長なら話が進んでいるかどうか聞けるので。我々が勉強会をしても市が対応してくれないと実現はできない。委員会として強く出るべきでは。

布施委員

笹田委員が言われたように、各委員会の政策提言を進めている。議会が市民の声を吸い上げて執行部に上げたとしても回答がない、取組状況を聞かないと言わないのなら、ぬかにくぎを打つようである。5分休憩を入れて担当を呼んで、今どうなっているか聞くべきである。

川上委員

私もそう思う。ぜひ呼んで聞くべきである。もともとお荷物だったお魚センターを何とかしたのだから。次の段階にステップを進めるべき。それをほったらかしにするのはおかしい。早急にすることを確認するべきである。

道下委員

放置というのは無礼で、前向きでない。行政が現場に行って意見を聞くのが一番不足している。それをやるのも、水産振興課に任せずに総務でも教育でも行って、縦割りでない全庁的にやるという方向性を漁港の人たちに示せば、向こうも意見をくれるしこっちの意見も理解してもらえる。全然取組の気配もないのはいかかと思う。

飛野副委員長

皆と同じように私も思っている。あのエリアの活性化がないからやろうと、大きな予算を投じている。中山間地では考

えられない予算が投じられている。高度衛生管理型荷捌き所も整備され、予算執行する中、本当にこれで活性化していこうとしている気力、それが見えてこない。回答にもあるように、産業の部課長で覚悟をもって対応したいという言葉が冒頭に出てきていること自体、懸念する。

串崎委員長

全庁横断した、中山間地も取り込む中で活性化をするプロジェクトチームの立ち上げはぜひ必要である。

皆からご意見が出た。急な話で対応できるかできないかはわからないが、とりあえず5分ほど暫時休憩を取って、皆の総意に沿いたい。

[ 10時 11分 休憩 ]

[ 10時 20分 再開 ]

串崎委員長

会議を再開する。もともと8月7日に意見交換をした際、新しいプロジェクトチームを早急に立ち上げると言われていたので、その後どうなったか、急遽戸津川水産振興課副参事においでいただいた。産業建設委員会委員としてはかなり時間が経っているがその後の回答や進捗報告もなく、皆思いがあるので、現状を説明いただきたい。

水産振興課副参事

8月7日の委員会で意見交換して、庁内で産業経済部だけでなく部を超えてプロジェクトチームを作ったらどうかというご提案をいただいた。部長が間に入り調整させていただいたが、市長と協議をする中では、浜田漁港周辺エリア活性化ということで実際に検討委員会には民間組織からも入っていただいているので、活性化を図るためには市だけで組織を作ってもそういう方々に協力のお願いが必要となるので、民間の方に入っていただいた組織を作ったらどうかということで市長からご提案をいただき、市としては市だけで考えても、結果的にはお願いして行動に移さないといけないので、民間の方を含め、もちろん事務局は水産振興課で持つが、そういった方に入っていて活性化していくプロジェクトチームを作ろうと、部の中で。

先般、9月定例会議終盤に、産業経済部の部課で集まり、そういったことでどうだろうかということで素案を作り、関係人口の課長にも入っていただき、協議をした。

協議する中では、そういったことで、民間の方に入っていただく組織を進めることはおおむね了解いただいたが、やはり山陰浜田港公設市場の運営をする第一ビルサービスの考えも聞いて、どういったプロジェクトチームにするかはたいたほうがよいだろうと、先般第一ビルサービスに話したら、ぜひそういう組織を作ってほしい、自分も入って一緒にやり

串崎委員長  
布施委員

たいという回答を得られたので、プロジェクトチームについては活性化計画で作った民間団体の、どちらかというとも将来のある若い方に入っていただく形で協力依頼していくことと、第一ビルサービスにも入ってもらって思いを中に反映できるように考えていきたい。それに向けて、各組織に改めてお願いにいかないといけないと思っているが、進めていきたいと考えている。

状況説明が終わった。

水産業がこういう状態で何とか公設仲買市場が新しくなって第一ビルサービスが指定管理者で、拠点となる場所をされるが、それはそれとして民間だから自分たちの給料を稼ぐために一生懸命されると思う。それとは別に、港オアシス周辺エリアを、1つの魅力ではなく、家族全員、観光客も、産業観光も、いろいろなことを打ち出すためには皆の協力が必要なことは皆わかっている。ただ、今言われたように組織立ち上げるには民間の知恵も必要だろう。それは第二段階にあって、最初は組織内で、神楽を日本遺産にする前に係長をつけて神楽係を作った、それが目に見えない所でいろいろ努力されて、日本遺産に認定されたり夜神楽ができたり、1つの大きな郷土芸能発信になった。

水産業も横断的組織は難しい部分があるかもしれないが、執行部の内部組織として10月1日、議会事務局も機構改革で新たに1名増員した、水産業も同じことだろう。民間を入れて組織を立ち上げるなら半年くらいかかると私は思う。そうではなく、今やって、今執行部として係等を設けて、その人が連携の汗かきをすればよいことである。そしてもらった意見を皆に共有して、第一ビルサービス、JA、市の執行部、議会、交えてやるべき。そういう考えはないのか。私はそういう考えをすべきだと思う。民間を入れた組織も必要だが、その前に、市の執行部の係を、専任でもよいから作ってやる。それは半永久的で、専門的なものが要る。しかしその人の努力によって浜田市の水産業の顔となるものが勢いづけば、市長が目指す元気な浜田市の一番点になる。

私も市長を応援する立場でいろいろやってきたが、私も民間に長くいて、人を動かすことは難しいかもしれない、組織を作るのは難しいかもしれない、でも一歩踏み出すために何が必要か考えたら、最初に考えたことをやるべきなのである。これがあるからできないではなく。

若い人と言われたがどういう人を選ぶのか。公募か。若い人が手を挙げなければまた延長になる。そうではなく一歩踏み出すためには勇気をもってやらないと。今がチャンスだと思う。遅いくらいである。本当はそこまで言いたくないが、

水産振興課副参事

それをやらないと、瀬戸ヶ島のマルハニチロの陸上養殖がコロナ禍でなかなか上手くいっていない。それができなかった時どうするのか。先の先を読まなければ。陸上養殖でも違うやり方があるかもしれない。マルハニチロに任せているから、相手が最終的に手を挙げるまで少し待っておこう、という状態でしょ。この前の回答だと。そうではなく、挙がる手がなかったときにどうするかを考えないと、言葉は悪いが、生ぬるいと思う。その辺はどうか。

浜田漁港を中心に水産業活性化しなければならないことは水産振興課としての使命と思っている。核となるところは水産振興課を中心に将来も踏まえて考えないといけないと当然考えている。政策的には、今時点は持っていないが、水産振興課としては将来も見据えたものを作ったわけなので、それを中心に進めていくしかないと思っている。

山陰浜田港公設市場を市が買い取ってにぎやか施設の拠点にしていこうと思っているのでまず活性化するように注力したい。それに向けて市の産業経済部の若い人に入ってもらい、なおかつ民間の思いがある方に入ってもらって、JF、JA、商工の関係の方に入ってもらいそこでいろいろ意見をいただく中で、方向性を作っていきたいと思っている。

笹田委員

我々としては非常に納得いかない。正直覚悟が何も見えない。僕らが言っているのはお魚センターだけではなく、漁業エリア活性化計画ができたことも含め、一番喫緊なのはそこかもしれないが、もちろん陸上養殖も大事だし、放流事業等、いっぱい書かれていた。そういう全部の計画の中で市としてこのように進めていく、港をこのように進めたいのだと強くアピールするためにもきちんと組織化して県、国に示さないと、市がなめられている。

今の漁港の状態を知っているだろう。マリン大橋の所はごみがいっぱいである。ドックの横の歩道に船が一隻上がっている。ああいう状況なのである。全体エリアを考えてどうしていくか。道も観光も養殖もそうだが。それで立ち上げろと言っているのである。その中で、もちろん民間の力も必要、もう第一ビルサービスが入ることは決まっているから。ただ、第一ビルサービスは農協のこともしてくれるか、観光のことも、バスを呼んだりしてくれるか。そんなことはしない、指定管理のことだけはしてくれる、しかしその周辺施設は誰がするのか、市ではないか。市が民間を利用して、民間にお願いして、民間に協力して、あそこをどうにかしようという姿勢が全然見えない。

3月にオープンする。花火が打ちあがってもこのままなら前の施設と絶対同じになる。僕は水産振興課に協力してきた。

議会でもいろいろと助言して、どうにか活性化してほしいと伝えて、議会の皆も納得して議決もした。これで今の状態が続くなら恥ずかしい。何のために協力してきたのかということすら疑問である。8月は覚悟があると言われたのだから、そういう組織を立ち上げて、市として全体のビジョンを、商港もあるから、あそこだけではないから。ヒラメの稚魚のことをされている方は、2、3年前から辞めると言っているのに何も動かない、どうするのかと言われる。中間育成施設で放流するのに利用していて、私は今年で辞めると2、3年前から言っているのに何も動かない。市の言い方は「協会が悪い」としか言わない。でもやったのは市でしょ。市も協力してやっているのだから、そういう組織を立ち上げろと思っている。皆迷惑している。

だから僕はそういう覚悟だと思っていたのに。市の中でそういう話があったか。とりあえずそのエリアだけどうにかしようかという話だろう。

水産振興課副参事  
笹田委員

今の話ではそれを超えた議論にはなっていない。

副参事の所は一生懸命3月までに準備してということが大事だが、我々としては、もちろんそれも大事だがその先が大事だから言っている。予算化されてあそこはどうか市が頑張ってくれてくれるのか、第一ビルサービスが頑張ってくれてくれるのかという頭がある。どうにか助けてくれるのだろうかというのが見えてきたので、そこは市の頑張りだと思う。

8月にはその先の話をしていて、そこだけはやらないといけませんが、全体の活性化エリアを作っていて、ではヒラメの養殖はどうするのか、アワビの養殖はどうするのか。計画に示している。あの計画は嘘ではないのでは。計画はどうやって進めていくか、プロジェクトチームがないと絶対に計画倒れになる。そういう覚悟を見せてもらわないと、僕らは勉強会をして、腹が立っている。何の返答もない。我々も一生懸命あのエリアをどうするか考えている。ぜひ、市長以下に伝えてもらいたい。何も進んでないのだから今日も2か月前の話から進まずに終わる。

道下委員

第一ビルサービスの意見、民間の意見を取り入れて、若者も入れるというのは結構だが、机上の空論のような、もう一歩進まない。もう一歩手前に市役所全体で盛り上げる機運が見られないと机上の空論になる。どこが動かないのか。副参事は一生懸命動いているのに。

水産振興課副参事

思いは受け止めて、お返事ができない。議員の熱い思いをいかに形にしていくかだと思っている。そこが見えないためにご意見が出ていると思う。

道下委員

月に会議があるじゃない。庁議の報告会で5分でも10分でも

串崎委員長

話ができないのか。全庁的にやろうと。産業建設委員会がうるさいからちょっとやろうでもよいからやってもらいたい。

今の意見は受け止めていただきたい。副参事の話では、第2弾のプロジェクトチームで、と私は理解している。今言うのは第1弾の、全庁的なプロジェクトチームについては早急に考えていただきたい。また、今委員の発言に対して、それに対するお考えを早急にまた改めてご報告いただきたい。そういうことでよいか。

( 「はい」という声あり )

水産振興課副参事

上に報告し、まとめたものをまたご報告できる形で整理したい。

川上委員

いつになるかわからないから、いつ頃までにという話をしたい。

串崎委員長

早急にと言われるがいつがよいか。

笹田委員

次の委員会までがよい。

串崎委員長

ではそのようにお願いします。副参事には退室いただいてよいか。

( 「はい」という声あり )

串崎委員長

では副参事にはこれで退室いただく。

暫時休憩する。

[ 10時 41分 休憩 ]

[ 10時 41分 再開 ]

串崎委員長

会議を再開する。

布施委員

2ページ目「農産物を扱う産直市等の誘致について」に回答をいただいている。これについてご意見をいただきたい。

第一ビルサービスの中の農産物の取扱い計画については三島ファームとの連携と書いてある。

三島ファームなら三島ファームでよいのだが、我々はJAの考え方を、農林振興課がどこまで、浜田市の農産物の部分で年々委員会では売上高や取扱量の報告があるが、販路が広がると生産者も精が出て出したら売れるという気持ちにさせるのも大事だと思う。できたものを売るというのもあるが売り先があれば生産者も、趣味でやっているけど売ってみようかとチャンスが生まれる。拠点ができればその周辺で売ることができる。JAには黒川の周辺程度で邪魔しないものを相乗効果でやっていただきたいのだが、それとは別に週末市とかや市とかで生産者が気軽に売れる仕掛けづくりのためには、JAのきんさい市場が方向性をあそこにも出していきなと協力したいものを出していただきたい。農林振興課がこの回答で、JAがだめだから難しいと言ってしまえばそれまで



- なのだが。他の所は、全国のそういったところがタイアップしている。なぜ浜田はできないか疑問に思う。基礎ができて
- いるのに。
- 串崎委員長 J Aの考え方等の確認も大事ではないかと思う。ここにある、農林振興課長の答弁はお聞きしたとおりである。先に進むような回答にはなっていない。これから先へ進めていくのに、農林振興課長に同じ話を聞いても進まない。J Aのお魚センターに対するJ Aの立場は大変重要なものがあると思う。J Aの担当部課長の話を聞くのも大事かと思う。その他ご意見があるか。
- 布施委員 直接聞くでもよいが、話が戻るがプロジェクトチームの立ち上げることによってそういったところが、我々が聞くより市が絵を描くことができる。だからプロジェクトチームの早急な立ち上げが大事なのである。
- 野藤委員 J Aの認識かはわからないが、資料に産直は頭打ちだと書いてある。先般、売上を伸ばす方法は生鮮市場の補充だと。補充を適宜すれば伸びると道の駅の駅長が判断され、カメラを取り付けた。それをY o u t u b eで流して生産者が見て、売れていることがわかれば随時補充する。いちいち連絡を取らなくても自分でそれを見て補充することで、売上が1.5倍になったと読んだ。これは農産物だけでなく、I o Tを使ったことにつながると思うが、そういう事例もある。今は並べただけで売上が云々ではなく、周辺エリアも公設市場も人がくる努力をすれば、人が来ればものは売れる。先進事例も検討して物が売れるものを考える。現状で頭打ちと言うだけでなく切り替えをしてほしい。
- 飛野副委員長 野藤委員が言われたような、後ろ向きの回答と思う。たまたま昨日の新聞に、スーパーと共存共栄という記事があった。本来ならスーパーと直売所は本来ライバル関係だが、この例を見ると手を組んで逆にプラスの売上を上げている。ものの考え方というか、回答を見た時に消極的だと感じた。考え方を全く切り替えることによって、もっと縦的な部分が出てくると私は思っている。プロジェクトチームの中で表にそれを出して、強力に交渉していくことが大事だと思う。
- 笹田委員 単純に市の努力が足りない。聞いたらだめだということで必死さも熱もない、どうにかしたい気持ちも伝わらない。だからプロジェクトチームを立ち上げるべきなのである。
- 布施委員 浜田市内のスーパー、共存共栄という話が出たが、一部の店舗がキヌヤになり、ゆめタウンは広島。地元の頑張っているスーパーもあるが、あれでよいのか。農産物の直売所に頑張っていたきたいという意味で、新しい拠点を、公設仲買の部分も大きな目玉だが、農産物も新しい直売所も作るべき

- だと思ふ。笹田委員の言うように、怠慢である。相手がやらないから進めませんという感じである。進めるためにはこうしようという提案がない。だから先へ進まない。
- 笹田委員 この委員会の皆もそうだが、視察へ行って感じるのは、そういった施設はどこへ行っても地元の人が来て潤っている。そこ行っても農産物や水産物やお土産があったり。でも観光客があるわけではない。作ろうという気がない。見ていいので終わりではダメである。石見圏域を抱えているので、全体的な目線でそこに人を集めるくらいのことを、視野をもってやっていただきたい。
- 串崎委員長 産直市は大変大事だということもあり、JAの考えも大事。産直市は頭打ちだという消極的な考えの転換も大事である。そうしたことを最終的に考えていただくのがプロジェクトチームだとのことである。市の努力が足りないとのことなので、早急にチームを作って対応するように。ということで整理させていただいてよいか。
- 道下委員 農協さんはどうするのか。
- 串崎委員長 農協に話を聞くのもよいが、布施委員が言ったようにプロジェクトチームを早急に作ってもらって対応してもらう流れがよいのかと思った。
- 川上委員 せっかく名前が出ているのだから農協の話も聞いたらどうか。農林振興課も、単独で聞かせてほしい。
- 串崎委員長 JAのアポが取れたら農林振興課長にも来てもらって話を聞くということか。
- ( 「はい」という声あり )
- 布施委員 できない理由ではなく、どうすればできるかを聞きたい。
- 串崎委員長 これについては1か月以内に話を聞くということでよいか。
- ( 「はい」という声あり )
- 笹田委員 次の項目について。
- 布施委員 これは待つしかない。
- 委員会視察で山形へ、サケの養殖を見に行く予定にしていたがコロナ禍で行けなくなったから難しい面がある。報告があったのは、こういう状況だから具体的に示されないという話だったが、マルハニチロの経営状態があまりよくないのか。
- 笹田委員 結構手広くされているから。
- 布施委員 しかし前のような勢いがないというような言い方をされたのだが。
- 串崎委員長 待つしかないという話もあったが。
- 道下委員 実際にそうだが、しかしこちらからどんどん突っ込んでいかないと、向こうも浜田市で本当にやる気があるのか、前向きに動いている所を見せるべきだと思うが。
- 布施委員 それはトップセールスだ。市長と先方でやるべき。

道下委員  
布施委員

失礼のないように突っ込んでいく。

マルハニチロに委員会として難しいから、市長にトップセールスを引き続きやってくれと。どのようにやっているのかと。8月の回答から2か月経って、どういう状況かを正副委員長が聞いて、少ないようならトップセールスを続けてくれと申し入れするしかない。

笹田委員

協定締結後、市はマルハニチロに対してどのような支援も含めて、実現のために協議を行おうとしているのか、そのくらい聞くのはよいかと思う。市長に聞く。協力体制はどうなっているか。

布施委員  
串崎委員長

その辺を確認したほうがよい。

次の委員会でそれも説明を受けようか。マルハニチロの経営内容、何をやっているかについては置いておいて、今の状況について確認する。

野藤委員

協定締結後にどういうスケジュールだったのが今止まっているか。コロナウイルスの感染症がどのような状況に変わったときにそういう動きをするのか聞きたい。物が売れないが、少しは動き出したので。タイムスケジュール、見直しを確認したい。

串崎委員長

これについてはそのようにする。

川上委員

次について。

これも最初のプロジェクトチームに関わってくる。これしかない。いかにプロジェクトチームに観光の方とかが入ってこられるか。入ってこられる場所を作っていただきたいと思う。それしかない。何を言ってもそれがなかったらできないので。または、トップダウンで市長がやれと、プロジェクトチームを作ってもらおうか。それが先決だろう。

布施委員

私は議員になる前にアクアスの民間会社に、アクアスオープン時から携わっていた。民間エリアには木造の神楽上演場所があった。週末に神楽をすることで、それ目当てでだんだん来られるようになって、人が民間施設とアクアスに分かれるようになった。それを見てアクアスの経営側が、全天候型のテントを作られ、その後うまいもん市として春市、秋市として年2回企画されるようになった。最初は来たお客しか利用されなかったが、今はチラシを1回打てば非常に集客があった。今度はステージを設けて子どものダンス、民謡の発表、神楽、いろいろなことをやることで、春市も2日間、秋市も2日間、非常に集客と売上がよくて、石見のうまいもの市をやることで広島のお客がついて、帰った方がそのお店や卸会社にふるさと納税にとはいませんが電話したら売り上げの向上につながった。まる姫ポークも好例。知名度はあれが火をつけた。きんた農園のベリーネのイチゴもそう。商品発表の

野藤委員

場でもある。チャレンジショップ等もした。やることで何かを得られて、次を考える。こういうイベントステージは非常に大事だと私は思う。それこそできたら全天候型の大きいテントをやると、風の影響はあるかもしれないが雨天でも人が集まる感じがする。これは経験談である。

山陰浜田港公設市場に作ってくれではなく、あのそばの駐車場に、お金をかけなくても屋根をつけることはできるし、マルシェのようにパラソル型テントを立てるスペースをきちんと整備すればよいかと。お金をかけないフリースペースのようなものはどうだろうかという話を、前にもした記憶がある。第一ビルサービスにいろいろ聞かれるのだろうが、エリア内の活性化なので、協議は必要だが、市が絵を描くことが必要なのかなと思う。お互いにウィンウィンになるからと積極的に話をするとか、現場を見ながらそういう発想をしていただきたい。

串崎委員長

その他にあるか。イベントは大変重要である。集客力があるようだし、商品発表の場になるというお話を聞いた。お金をかけずにやる方法もあるようである。中に観光も入れるべきかどうかはわからないが、これもプロジェクトチームで考えていただけるだろうとのことなので、これもまとめて考えていただきたいということにしたい。

以上でよいか。

( 「はい」という声あり )

布施委員

次について、ご意見をお聞きしたい。

デマンドタクシーやバスの仲介については、一般質問でも質問された議員がいる。バスは前向きに考えている、あとは設定の仕方ということだと思っている。ただ、これだけでなく、イベントをやる際に時間帯に合わせて人が来ることも必要だが、バスが走らない時間帯に走らせる。イベントも昼やるのが当たり前だが、朝市や夜市があった時に出してもらえるような仕掛けづくり。夏祭りの花火大会には臨時バスを走らせて駅からの直行便も出ている、あのようものもしっかり話し合うべき。普段の定期バスも必要だが、イベントの臨時便が対応できるようなことも併せてお願いすることも必要ではないかと思っている。

道下委員  
串崎委員長  
道下委員  
串崎委員長  
道下委員  
布施委員

これはどこまで進んでいるのか。

設定を考えているとは聞いているが、その他には何も。

やはりいつまでにどういうことをするのか。

現状報告か。

会議の時に情報がほしい。

オープンに向けてのことは考えていると、地域政策部副部長が9月の一般質問へ答弁した。いつどのようにやっていくか

笹田委員

は聞いてもよいかもしれない。

これも全部プロジェクトチームを立ち上げないと一向に見えてこない。本当は市が全部連携させないといけない。一番問題なのは、やってもよいけど人が乗らなかった時もあり得るし、他の施設、例えばゆうひパーク等から認められてからやらないと、なぜここだけやるのだという形になりかねないので、それなりの理由をしっかりとつけてやってもらわないといけない。

野藤委員  
布施委員  
野藤委員

乗り入れは3月から多分入るのでは。

まだ予定。決定ではない。

ある程度口に出るということはほぼ決定かと思う。リピーターのための施設の活用というのが、文言はよいが具体的なものがイメージできない。言い方は悪いが他人事のような文言にしか見えない。具体的に進めるにはどうするか、一步踏み込んだものを示してほしい。課題があれば1つずつ解決する方法は必ずあるので。

布施委員

この部分は、横断的な課を超えた連携がないとできない。高度衛生管理型荷捌所ができて、ただ鮮度がよくて安心に買えるのはよいが、あそこまでできたなら、八幡浜で言われた高度衛生の、産業観光で朝の競りが2階から見えて、食育等でも料理教室が2階で行われ、一体型のそういったエリアをやって高度衛生管理型の施設を作ったところもあった。もうできたものに言いようがないが、4号市場の時にはそういう施設を作るべきだという要望が出た。それを含めて、水産浜田としては産業観光の部分を担当するために、関係人口推進課もしっかり取り込んでいただいて。イベントをするなら観光交流課だし。取り込んでやると結構いいものにでき上がっていくかと思うのだが、何しろ課を超えたプロジェクトチームが要る。

飛野副委員長

関係人口と周辺エリアだが、本来関係人口と言えば市外・県外の話になってくるかと思う。このエリアを活用した活性場所へということについて考えると、まず、なぜ農産物をこれだけやかましく言うかと言うと、市民同士の関係人口、これは農産物を通じて随分生まれてくると思っている。まず市内の関係人口をエリアを通じてやることで活性化が生まれてくるという、基本がそこにあると思う。まず地元がそこを利用する、そういうことが一切回答に載っていない。市内の関係人口活性も図るべきだと私は思う。

串崎委員長

最終的には全てがプロジェクトチームに考えていただきたいということになるかと思う。そういったことを考えてくださいと委員会としてまとめたいと思っている。

関係人口がなかなか難しい問題だろうと思う。具体的な案は確かに野藤委員が言われた。どういう考え方でいるのかも、

野藤委員  
串崎委員長

具体的に聞いてみたい感じもする。

今の、具体的な関係人口については次の委員会でよいか。  
もう少し具体的なものが出れば次回の委員会でも。

ではその点と、バスの現状の方向性についても次の委員会で。

近重書記

本当は産業建設委員会ではないが呼んで話を聞くということか。

串崎委員長

そうなる。

一応一通り終わった。何かあれば意見をお伺いしておく。

布施委員

第一ビルサービスの指定管理の中に、風の国がある。江津の人に話を聞くと、以前はいろいろ努力されるがなかなか集客ができず、指定管理者が変わり第一ビルサービスになっている。話題になって、若い人達の利用が非常に増えた。私も一度行ったが、平日なのに若者が来ていた。広島大学の学生だった。いろいろ検索して、GOTOトラベルもあったのかもしれないし、イベント目当てなのかもしれないが、あのエリアは若者のレストラン利用やホテル宿泊も多い。ドッグランやグランピング施設を整備された。あのよう、民間は知恵を出してやるので今回も期待するのだが、それだけでなく行政として、市議会として応援できるところはしっかり提言していかねばと思っている。

道下委員  
布施委員

風の国の話は、コロナ禍での話か。

はい。大型犬のドッグランがある。あと石見麦酒が移転したのも影響かと思う。レストランのメニューが変わった。

近重書記  
布施委員

内装と食器がすべて変わった。

串崎委員長

従業員も若い。

その他にあるか。

( 「なし」という声あり )

## 2 その他

串崎委員長

要望書が1件提出されているのでタブレットをご確認いただきたい。林業、木材産業活性化に関する要望で、要望者は島根県木材協会浜田支部、浜田支部長浦田さんとなっている。

なお、本件は市長へも提出されている。補足として同支部の監事として西田議員が同行されている。一応報告させていただく。

野藤委員

他に委員から何かあるか。

年初からコロナの影響で5、6、7月、産業建設委員会の視察が全部中止となっている。来年の1月か2月、一泊二日程度でタイムリーな視察先があればまたご提案するので、皆もご協力をお願いします。

串崎委員長

来年になってからまた一泊二日の計画を、幹事をお願いし

ている。ご協力をお願いします。

その他にあるか。

( 「なし」という声あり )

では次回は11月6日が産業建設委員会となっている。

以上で本日の委員会を終了する。

[ 11 時 23 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行